

INSTRUCTION  
BOOK



**PETRI F2**



**PETRI** camera

- ① フィルム捲上ハンドル
- ② シャッターボタン
- ③ フィルム指示表
- ④ フィルムNo.
- ⑤ シャッタースピード
- ⑥ 絞り (指示表)
- ⑦ 距り目盛
- ⑧ 深度表目盛
- ⑨ 連動距り計ファインダー
- ⑩ 捲戻し (クランク式)
- ⑪ 吊環
- ⑫ 裏蓋開閉レバー
- ⑬ ヘリコイドレバー
- ⑭ オリコールレンズ
- ⑮ セルフタイマー



## 目次

- ペトリ F 2カメラについて…………… 2～ 3
- オリコールレンズ…………… 4～ 5
- ペトリ F2 カメラの機構…………… 6
- ペトリ F 2 の操作方法…………… 7～9
- カメラの構え方…………… 10～11
- ファインダーの見方…………… 12
- 新機構について…………… 13
- 絞りとシャッターの調節…………… 14～15
- 焦点深度表の活用…………… 16～17
- シンクロ…………… 18～19
- シンクロ撮影と露出…………… 20
- フィルム指示表…………… 21
- オリコールレンズの特徴…………… 22
- コバルシヤッターについて…………… 23
- フィルムを取り出す方法…………… 24
- 撮影が終つたら…………… 25
- ペトリアクセサリー…………… 26
- ペトリフィルターの使用効果…………… 27
- 作例…………… 28
- カメラの取扱ひと保存…………… 29

歴 史  
信 用  
技 術  
設 備  
優 美

弊社は写真機の製造を初めました大正初期より**四十余年の歴史**を持つ、**国産最古のカメラメーカー**であります。此の度ペトリF2を生み出す迄には十数種のカメラを皆様のお手元へ送り出して居ります。大正初期にスピードフレックス、昭和に入りセミファースト等ファーストカメラ全種を製造し、戦後はいち早く**(距離計付)** ペトリ・カロロン等を発売し、昭和27年頃にはペトリRF・ペトリフレックス・ペトリスーパー等、御記憶に新しい処と存じます。又最近

には（昭和30年頃）ペトリ35F/2.8・ペトリオートメイト等々を発売して、広く内外の皆様から親しまれて参りました。

以上の様に、**永い経験と優秀なる技術陣**を動員し併せて**近代的工場設備**を持ち、レンズ・ボデーとその仕上（プレス・旋盤・鍍金・塗装）より組立に至る迄、**迄代的コンベヤーメーションシステム**を採用し、各部はすべて粗材より仕上、組立、検査、完成の工程を**社内一貫作業**により、優秀なるカメラを皆様のお手元へ送り出して居ります。**ペトリF2カメラの特長は堅牢でしかも優美なことであります。又高性能にして買い易い価格、此の二大特長を弊社は誇りと致して居ります。**

# オリコールレンズ

## 高度の鮮鋭度

画面全般に亘る均一性

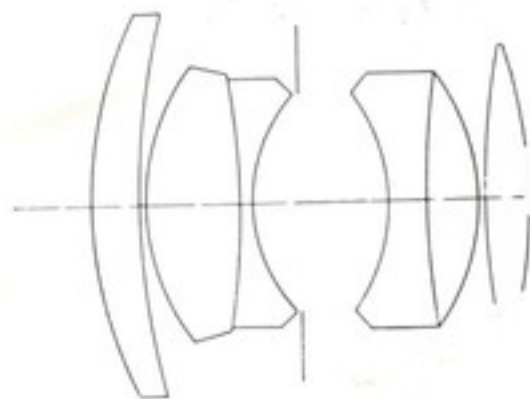
## カラー撮影に最適

アンバーコーティング

## 新種光学ガラス使用

により各収差は最大限に  
矯正されたニュースタイ  
ルレンズ

## ORIKKOR LENS F 2



## TEST CH.



## F 2 45mmレンズに就いて

写真レンズの性能として最も重要な事は画面全般にわたる鮮鋭度の均一性であります。

オリコールレンズは在来のズマータイプレンズによる種々の弊害を除く為に高屈折率の新種ガラスを使用して6枚構成とした、全く新しいレンズで各要素に就き精密且つ徹底的な検討を加え、改良設計を行つたもので、**球面収差、非点収差、コマ収差等各収差は最大限に矯正され**、又絞りによる焦点面の移動も僅少であり、**コーティング**の採用と相まつて距離計連動35mmカメラとして高度の性能を発揮する解像力の良深みのあるカラー撮影に最適のレンズと言えましょう。

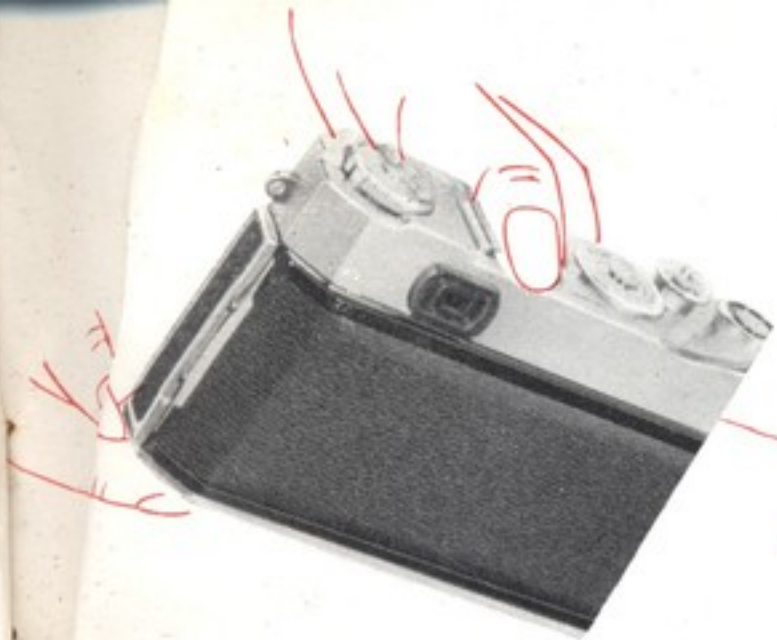
ペトリ  
F2 カメラ  
の 機 構

ペトリ F2 カメラはライカ判専用カメラとして、35mm フィルム (20 枚・36 枚) を使つて、其の精度を高めると共に速写性を十分に生かす様設計されて居ります。

ペトリ F2 カメラはヘリコイド式連動距離計を持ち、ヘリコイドを動かす事により、明るい光棒式トリミングレンジファインダーで常に正しい撮影の範囲が得られ操作の容易と共に完全な連動距離計であります。

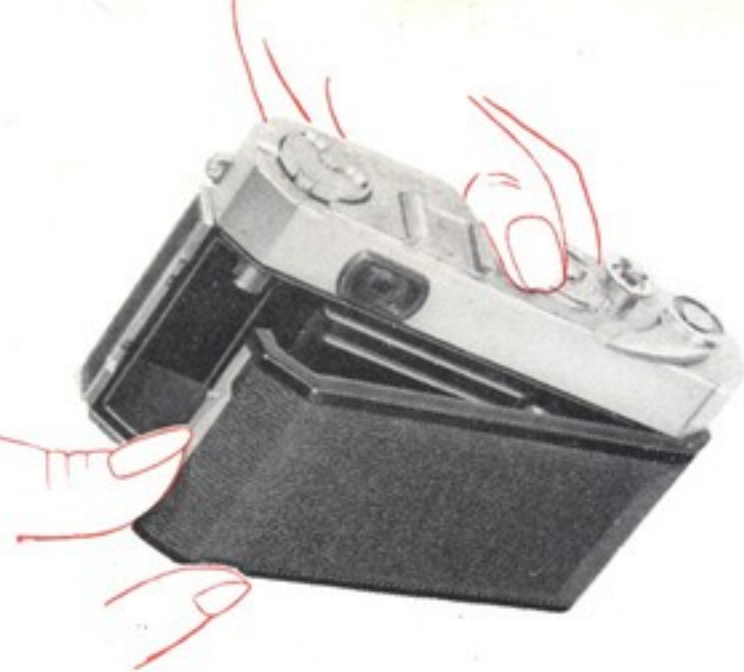
フィルム捲上げはレバー式でダブルクラッチ式 (レバーに親指が常に入る様遊びがあります) になつており、ワンストロークでフィルム一枚を送り、シャッターセットはフィルム捲上げと同時に居ります故、捲上げレバーを捲き、距離計を合せ、シャッターを切る速写性にとんだ機構は操作を一層容易にして居ります。





裏蓋開閉 (A)

開閉レバーを引きます。



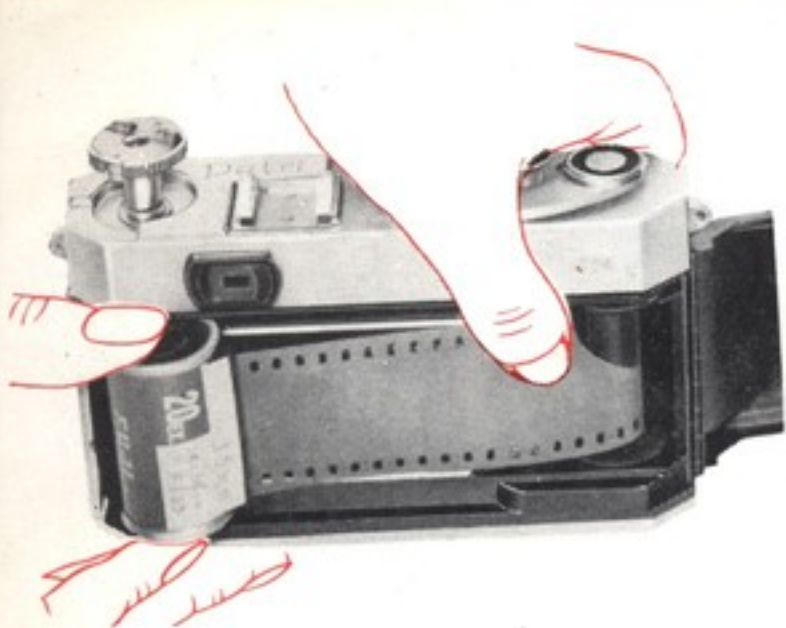
裏蓋開閉 (B)

写真の様に裏蓋を開きます。



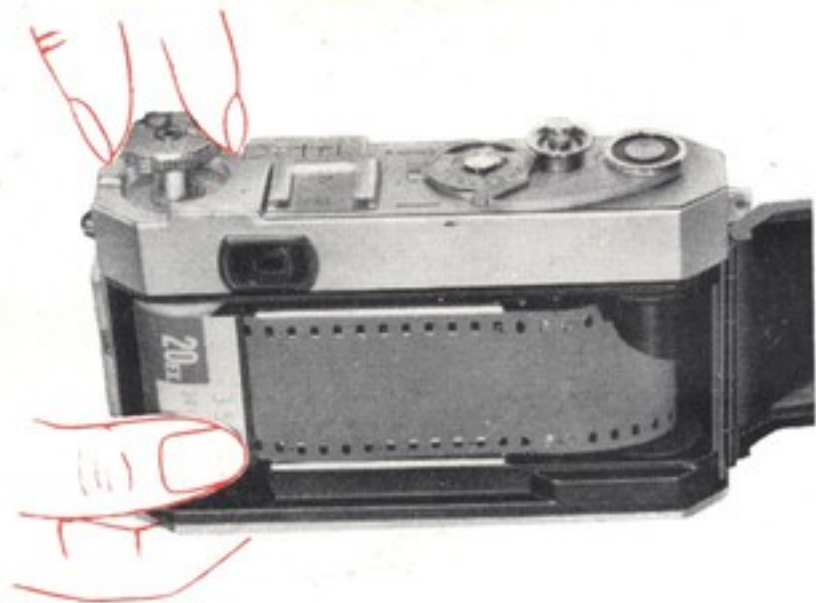
フィルム装填 (A)

フィルムの先端を捲取用スプールの溝に差込みフィルム両端のコマが歯車に入るまで巻きます。



フィルム装填 (B)

写真の様にフィルムを  
リターンノッブ迄引延  
します。



フィルム装填 (C)

写真の様にリターンノ  
ッブを引きフィルムを  
装填します。



裏蓋開閉

裏蓋は写真の様に押す  
事によつて自動的に閉  
りますと同時にフィル  
ム指示表に S のマーク  
が出ます。

捲  
ツク  
イル  
るま  
捲上  
完全



フィルム指示表

捲上げレバーとボデーシャッターを交互に操作し、フィルム指示表が No.1 になるまで捲上げます。

捲上げハンドルは止る所迄完全に捲上げて下さい。



露出設定 (A)

シャッターダイヤルを廻す事によつてシャッター速度を決めます。



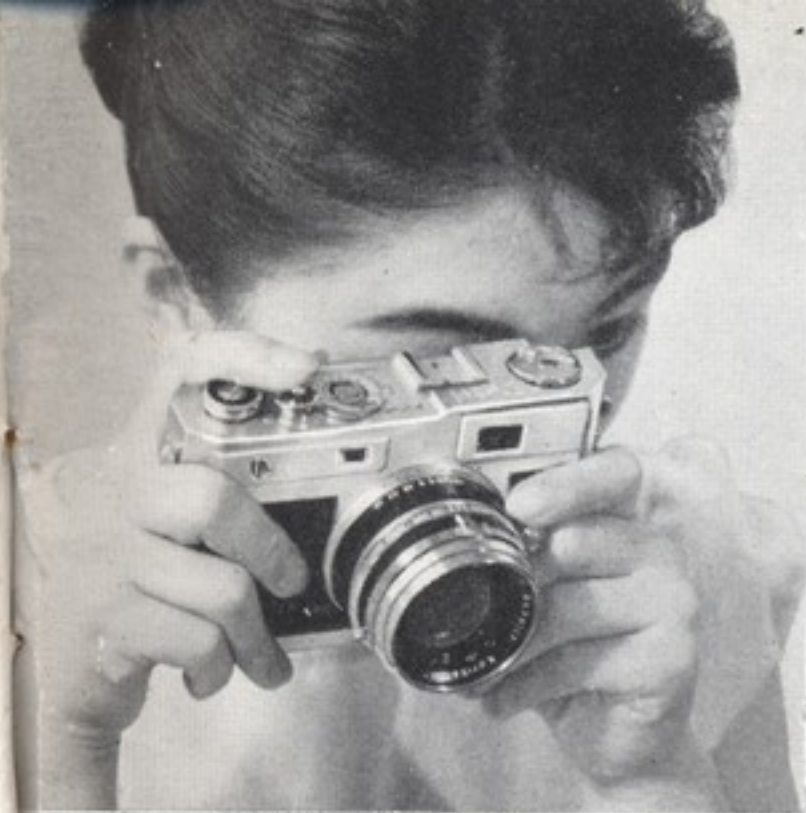
露出設定 (B)

絞り調節ダイヤルを操作して露出をきめます。

シャッター速度とレンズ絞りによる露出はカメラ上部より一線に見られます。

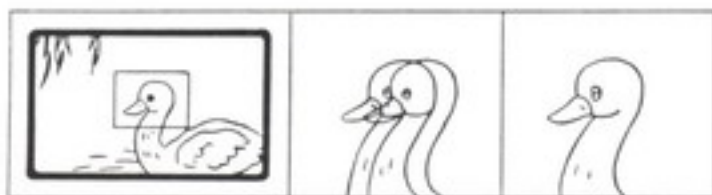
## カメラの構え方

35mmカメラは原板サイズが小さいため、**わずかのカメラぶれも写真の鮮鋭度に大きく影響します。**従つてカメラの構え方は二眼レフやスプリングカメラ以上に注意が必要です。カメラを構えるには縦位置の場合でも横位置の場合でも両肘はできるだけ体につけ、**安定した姿勢で無理なく構えるということが大切です。**無理な姿勢、不安定な構えはカメラぶれの原因になります。これではいくら高級カメラを使用してもボックスカメラで撮影した写真に劣るといふ結果にもなりかねません。



ファインダーを覗き視野をきめる。

下図に示された様に二重像が合致する迄ヘリコイドを移動し、完全な焦点を得てから撮影して下さい。



NO

OK



## ファインダーの見方

35mm カメラのファインダーの種類、機能については種々あり精度も高度のものとなつて居ります。35mm カメラは画面が狭いのもし斜めにファインダーを見ると視野は變つてしまい、実画面と異つた視野を見ている欠点がありました。がペトリ F2 カメラはライトフレーム式になつていますから目の位置を動かしても光像式の枠内の画像は見える範囲が變らないし動くものをとらえるにも便利です。尚バララックスが完全に修正されて居りますからクローズアップの場合も画面のケラレを未然に防げます。ペトリ F2 カメラは一眼式ですのでピントを合はせた瞬間に目を別のファインダーに移すことなくシャッターが切れます。

## 新機構

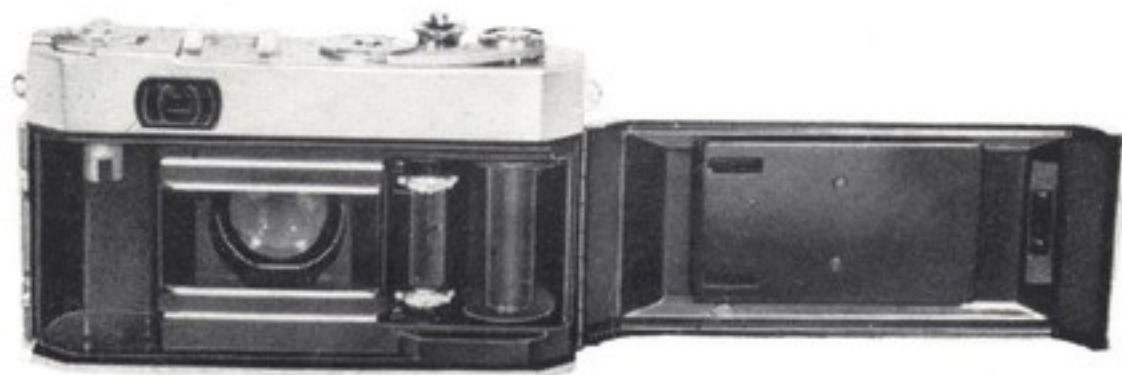


### ダブルクラッチ式

フィルム捲上げは、ワンセット・セルフコッキング機構でダブルクラッチ式になっておりますから、常にレバーに親指を掛けて居られるので速写に偉力を発揮出来ます。

### 裏蓋開閉方式

プレッシャープレートがスプロケット全面を覆う位置まで延長されて、フィルムカーリングの諸問題も、不安なく解決されています。尚内面反射防止枠も装置されております。



## 絞りと シャッター の調節

絞りとシャッターの調節は天候（晴、曇、雨）季節（春、夏、秋、冬）等により異なりますが、右に示す表を御参照になつて下さい。而し大体の標準ですから少々はその時、場所、背影等により異なりますがそれに応じて適性な露出を決めます。露出の適性、不適性はフィルムの受ける感光度の大小ですらか写真に最も影響します。少な過ぎたり、多すぎたりする場合は印画に白く出たり、黒く出たり良い写真が得られません。又現像は（20枚～36枚）一本を一回に行いますから各一駒一駒が適性でも一本が均一な露出になつていないと現像時間を片方に合わせる為不均一のものは不良になります。昼間撮影と朝夕撮影を一本に収める時は特に正しい露出を決めなくてはなりません。



# ORIKKOR 1:2 F = 45mm

## Depth Guide

人物と 6feet にある建物を鮮明に写したいときは 45 mm のレンズならば f8 に絞つて距離 4.5feet に合わせます。又中景以遠を焦点深度内に入れる時、この表によれば容易で 12 feet に合はせて 45 mm のレンズならば f 16 に絞れば 5feet から遠景までピントが合い、スナップなどにはいちいち焦点調節しなくても 5 feet 以上の被写体なら安心して写せる様になつて居ります。

F Feet	2	2.8	4	5.6	8	11	16
2.8	2.90 - 2.70	2.94 - 2.67	3.00 - 2.62	3.10 - 2.56	3.22 - 2.46	3.36 - 2.30	3.84 - 2.20
3.4	3.55 - 3.25	3.61 - 3.21	3.70 - 3.14	3.84 - 3.04	4.08 - 2.91	4.42 - 2.76	5.12 - 2.55
4.5	4.78 - 4.25	4.88 - 4.18	5.07 - 4.04	5.35 - 3.75	5.80 - 3.68	6.50 - 3.44	8.17 - 3.12
6	6.52 - 5.56	6.72 - 5.43	7.10 - 5.22	7.62 - 4.95	8.60 - 4.62	10.03 - 4.24	15.10 - 3.74
8	8.94 - 7.23	9.34 - 7.00	10.00 - 6.71	11.15 - 6.24	13.40 - 5.70	18.00 - 5.15	42.00 - 4.43
12	14.29 - 10.35	15.20 - 10.10	17.30 - 9.20	21.00 - 8.40	30.80 - 7.45	75.40 - 6.54	∞ - 5.42
30	50.25 - 21.41	65.00 - 19.50	76.70 - 16.90	∞ - 14.40	∞ - 11.80	∞ - 9.61	∞ - 7.45
∞	∞ - 74.25	∞ - 55.40	∞ - 38.80	∞ - 27.70	∞ - 19.40	∞ - 14.10	∞ - 8.40

## シンクロ

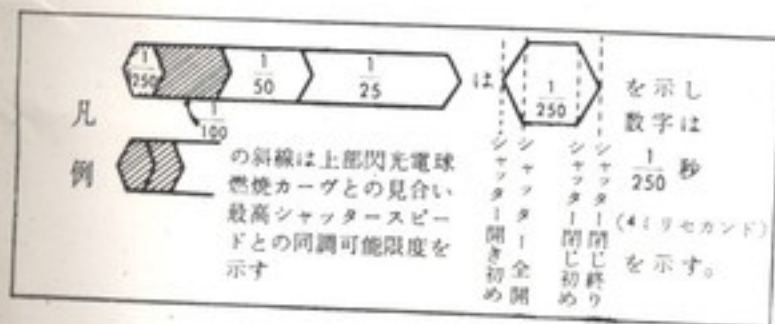
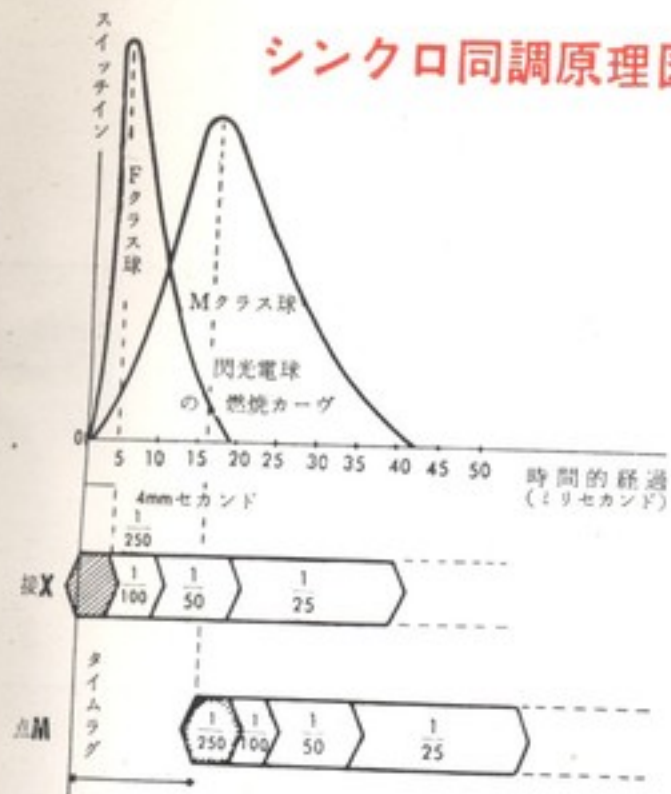
シンクロコード（ドイツ式）をシャッターのシンクロ接点に差込むだけであらゆる閃光電球を全シャッタースピードにフルシンクロ致します。閃光電球にはM球・F球の二種類があります。

**X接点**：切換レバーをXの位置におき、シャッターを切ることによりシャッター全開時にシンクロし（タイムラグ0）1/100秒以上の高速シャッター使用の場合ストロボ専用となる（ストロボ使用全シャッタースピード同調）

**M接点**：切換レバーをMの位置におきシャッターをセットし、シャッターを切ることによりシャッター開放前にシンクロし（シャッター全開時迄のタイムラグ18%セカンド）M級の電球を使用することにより全シャッタースピードに同調します。

**セルフタイマー使用時**：接点をXの位置におくことによりセルフタイマーを使用することが出来る。此の場合セルフタイマーを使用しながらシンクロを必要とする際、ストロボを使用の場合は全シャッタースピードに同調し、F級の球を使用される時は1/50秒以下、M級の球を使用される場合は1/25秒以下のシャッターを使用する。

## シンクロ同調原理図表



## シンクロ撮影について

シンクロ撮影については応々にして故障を生じたり撮影に不馴れのため、失敗を起しますので良く研究、点検してから撮影にかまりましょう。

### 閃光電球の不発

フラッシュガンの故障  
コードの接続不良  
電球の不良

### 乾電池の不良

乾電池が古くなると電圧が低下する為、不発又は発火しても同調しない原因となります。

## シンクロ撮影と露出

一般撮影の露出は絞りとシャッター速度を調節して決定するが、シンクロ撮影では閃光電球から被写体までの距離と絞りにより決定致しますので1/25～1/10の如き緩速シャッターでも露出の変化はありません。しかし1/100秒以上の高速撮影では閃光電球の光力の一部しか使わないので、その光量により距離か、絞りを加減しなければなりません。

常に一定の閃光電球を使いその光量を有効に使うシャッターを決定して置けば絞りとは距離は別表の通りになります、又被写体の明暗、室内の明暗により幾分異なりますが、自然光の殆んどない所では閃光電球の光だけを考えた別表の露出を御使用下さい。

## シンクロ標準露出表

使用電球 No 総光量ルーメン 秒	級	絞                  り				
		F2.8	F 4	F5.6	F 8	F11
S F           8,000	F	Feet 20	Feet 18	Feet 13	Feet 10	Feet 7
No.3          14,000	M	27	24	16	12	9
No.62        14,000	F P	18	15	10	7	6

(ウエスト使用例)シャッター速度は1/50秒又は1/100秒使用、フィルムは  
 コニパンS・ネオパンS  
 USS 又は SSフィルム使用の場合は同一絞りで撮影距離を50%と増加出来ます。

## フィルム指示表

## Film Indicator



ペトリF2カメラのフィルム指示表により装填されたフィルムの種別を知る事が出来ます。35mmフィルムは色々種類がありますので、どのフィルムを装填したか区別がつかなくなる事があります。かようにフィルム指示表は御使用の際にフィルムの種別(ASA)を記憶するのに役立つ事となります。フィルム指示表には通常使用されるフィルムの感光度(ASA)が明記されておりますから指先にて矢印を合わせる様に廻して下さい。尚フィルムカウンターが同じ場所に装置されて居りますから御使用になる場合は非常に便利です。

## オリコールレンズ”の特徴

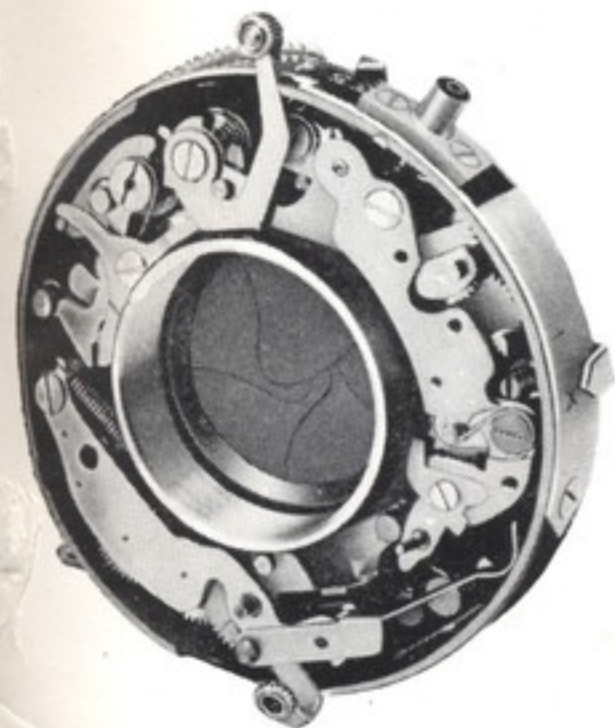
35mmカメラレンズは引伸しに於いて相当過度な引伸しを要求されるので非常に高度のものでなければなりません。其の為ペトリF2用オリコールレンズの使用材料は光学的、材質的に最も新しく進歩したものであります。

オリコールレンズの45mmという焦点距離は準広角とも云えるものでそれだけ焦点深度も深く瞬間にピントを合わせシャッターを切らねばならないスナップ撮影には至便です。

一大特徴として2.8feetまで近接撮影が可能なことと、カラー撮影に最適なアンバーコーティングをしたオリコールレンズとカメラの持つ内面反射防止装置によりカラー撮影も安心してシャッターが切れます。

ペトリF2はスマートな外観と優れたオリコールレンズの性能により必ずや貴方の写真を満足させることであらうでしょう。

## コパルシャッター



**COPAL — M.X.V**

**SHUTTER**

シャッタースピード

B・1秒～1/500秒

セルフタイマー内臓

5枚羽根

フラッシュ撮影に

MX接点装備

## PETRI camera

- ① コパルシャッターはレリーズアクションの軽いのを一大特徴と致して居ります。
- ② セットレバーを内蔵してフィルムの捲上げと同時にチャージされるプロンタータイプで故障絶無のシャッターであります。
- ③ 近代シャッターの必須条件であります、フラッシュ撮影にMX接点をビルトインしております。
- ④ デザインはペトリF2カメラによくマッチした優美さを持つて居ります。

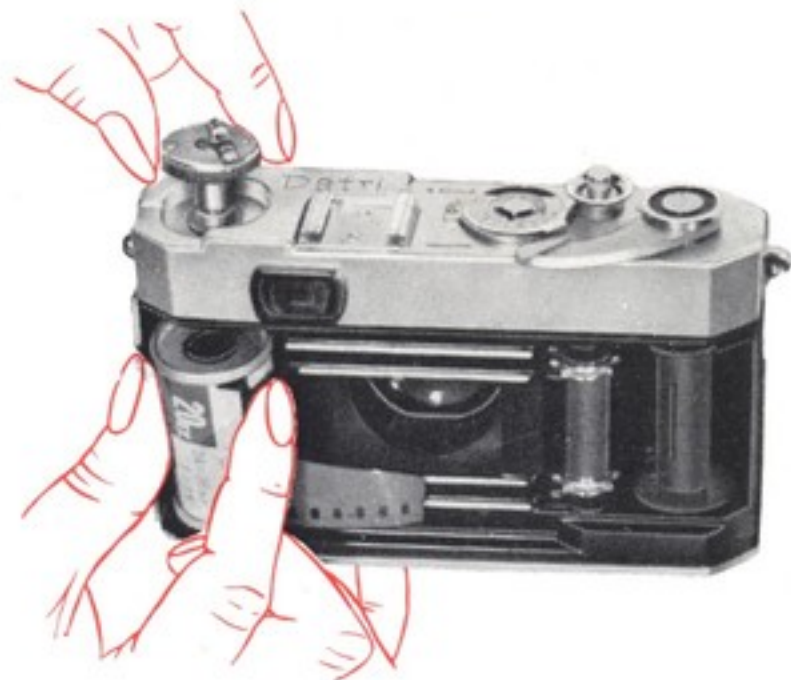
シャッタースピードとレンズの絞りによる露出の設定はカメラ上部より一線上に見え非常に便利です。



### フィルム捲戻し

下部のリターンボタンを  
押しながらフィルムを再  
び巻き戻す。

**フィルムを取り出す方法**



### フィルム取外し

上部リターンノックを引  
きマガジンを取り出しま  
す。



## 撮影が終わったら

撮し終ったフィルムはすぐ現像することが大切です。よく撮影済のフィルムをポケットに入れて持ち歩く人がいますが、これなどは絶対にさげなければなりません。特に夏の如き高湿、高温に露出されたフィルムが合うと、カブリが現れますし、フラットになる傾向があります。特に甚しい場合は線状のカブリや斑点があらわれたり、パトロネにフィルムが貼り付く場合があります故、早めに現像することが必要です。

撮影完了フィルムの取り扱いは、パトロネに巻き戻します故、うつかりすると撮影前か撮影後のフィルムか区別が付かなくなります故、未撮影のフィルムと区別する為、端を少し切り取るなりフィルムの膜面にペンで被写体、天候などを記入しておくとう便利です。よく全部巻き込む人も居りますが、空のパトロネと間違えることがあります故、注意致しましょう。

## ペトリ アクセサリー

### ペトリフード

斬新的なスマートさで完全なる内面反射防止が施してあり止ネジによる確実な装着、軽合金による軽い材質はペトリ F2 カメラに完全にマッチいたします。



### ペトリフィルター

フィルターの効用は今更述べるまでもありませんが、現在の感光材料ではフィルターを欠く事は出来ません、ただ多種多様のフィルターを使い分けるのは余りにも繁雑です。ペトリフィルターは最も利用の多い品種を選んでペトリ F2 専用としました。

### ペトリマガチン

パトロネは元来一回だけの使用に耐え得る程度でフィルム出口のゴミやキズ漏光の恐れがあり長期の使用は出来ません。これは画期的製品と言へる完璧品で必ずや御使用者の御満足を得る事を確信致します。



## ベトリフィルターの使用効果と特長

- Y 1** = 青空を背景とした風景、人物、建物、草花等の撮影に多く利用され、肉眼の感じに最も近い色彩の明暗感を顕してくれます。尚主題と青空とのコントラストは Y1.Y2.の順に強くなりますから、皆様の撮影意図に依つて使い分けて下さい。
- Y 2** =
- YA 3** = 強いコントラストを得るのに用いられ、特に山岳、遠景等の撮影には視角以上の克明な山肌や遠景を写し撮ります。
- R 1** = 赤色フィルターは長波光を導入しますから光の拡散が少なく、従つて遠景を克明に描写する為、航空写真によく利用されるのもこの種のフィルターです。
- PO 1** = 人物撮影用フィルターとして多く利用され皮膚感を非常によく表現する事が出来ます。
- 尚 **カラー用**としてデーライトタイプに多く用いられるヘーズカット（紫外線吸収用）として**UV**、温調用として**W4**、冷調用の**C4**、フラッシュ用**C8**とタングステン電灯（3200°K）用として**C12**があります。



## カメラの取扱ひと保存

カメラはよほど無理な扱ひ方をしない限り撮影中にそう故障を起すものではありませんが、カメラは一種の精密機械ですから機構を無視して取扱うと故障の原因になります特に注意すべきはレンズシャッターです。これは一度セットした後、セットしたまま何日もほつて置くことはスプリングを弱めますから、必ずシャッターを最後に切る様習慣づけましょう。

カメラの保存は毎日カメラを使用している場合は問題ありませんが一ヶ月に一回位の時は特に注意しましょう。保存する時はカメラをケースから出して別々に箱に入れて置きます。場所は湿気のない乾燥した所(タンス、桐箱等)に置きましょう。又カメラをしまう時は各部点検手入してからしまします。保存が長期の場合は時々取り出して点検する様に努めて下さい。

お問い合わせは……

**ペトリカメラサービスステーション**

東京・千代田・神田・小川町2-2  
TEL. (29) 4986~8

## 栗林写真工業株式会社

営業所 東京都千代田区神田小川町2ノ2  
国内関係電話東京294986~8  
工場 東京都足立区梅島町一番地  
輸出関係電話足立(888)1111~4

株式会社 八光社印行



**PETRI**

**Kuribayashi Camera Industry, Inc.**

*Export Office: No. 1, Umejima-machi, Adachi-ku  
Tokyo, Japan Tel. (888) 1111~4*

*Domestic Office: No. 2, 2-chome, Ogawa-machi, Kanda,  
Chiyoda-ku, Tokyo, Japan Tel. (29) 4986~8*